

「フィールドワーク戦略会議」

1



いよいよプロジェクトが始まります。

2



グループ分け。封筒の中に書かれている自身のグループを確認します。

3



お互いをさらに深く知るための自己紹介を行いました。

4



グループごとに昼食に出かけました。

5



清水氏の講演。フィールドワークの楽しみ方をお話いただきました。

6



「家」グループの戦略風景。

再開

プロジェクトの2日目。この日はいえしまでのフィールドワークに向けて戦略を立てることを行いました。8日の説明会に参加していただいたほぼ同数の方に参加いただきました。(1)

運命共同体

まずはグループ分けを行いました。(2)ここで決まったメンバーはこれからの6日間をともに過ごすメンバーで、いわば運命共同体です。自己紹介を行いメンバーがどんな人かを知り、いえしまに抱えている興味やプロジェクトに対する期待をグループ内で共有しました。(3)さらにはその後の昼食も一緒。(4)

清水氏講演

「フィールドワークの楽しみ方」をテーマに清水氏の講演が始まりました。海外にも研究サイトをもつ清水氏は、これまでのいろんな文化や風習に触れてきたそうです。その経験をもとにお話いただきました。清水氏のフィールドワークは単に表層に現れる現象をとらえるだけではなく、その背景までを解明するため現地の人ととことん会話をすることも重要だと教えていただきました。(5)

フィールドワーク戦略

家チーム(渡辺、西上真、池上、神庭、長生の5名)は、まず、老人ホーム、火葬場や墓などが地区の一部に収束されている点に興味を惹かれました。また、やはり密集居住地は見ておくべき要素との判断から、いえしま初日は居住地を中心に他のポイントを押さえながら歩くルートを設定しました。(6)(9)島チーム(村田、村上、小川、醍醐、檀上、金田の6名)では、住民の人たちによる公共空間の使い方に着目しました。加えて、公園などの施設が不便な場所にあるため、階段やオープンスペースに対して工夫した使用方法に期待と推測を抱き、公共空間に対する生活の適合方法をフィールドワークによって明らかにしていくことになりました。(7)(10)

町チーム(長神、滝川、谷、香山、西上あ、寺内の5名)では、住宅密集地に興味を持っています。住宅が未執行している場所には、島独特の生活臭さがあるのではないかと考えています。初日は個々の興味を優先させて、フィールドワークしたいと思います。(8)(11)

本日の感想

プログラム終盤にみんなから本日の感想をもらいました。

〔感想〕

- ・講義は全く未知の分野だったので、「フィールドワーク」についてのヒントを得ることができずごく役立った。
- ・実際に現地で行動するグループと別れて話をしたためか、家島に行く事が現実的になってワクワクしてきた。

懇親会

この日のプログラム終了後、懇親会を行った。お酒も入りみんなヒートアップ。個々に打ち解けることができた。(12)

2005.10.16 at INAX大阪

7



「島」グループの戦略風景。

8



「町」グループの戦略風景。

9



「家」グループの発表。

10



「島」グループの発表

11



「町」グループの発表

12



懇親会。ここでもメンバーの意外な一面を見ることができました。